

シラバス

科目名	文章表現	履修学年	3 学年（必修・選択）
教科担任	高橋 一嘉	単位数	2 単位
教科書名	学校設定科目のためなし	副教材	なし
教科目標	・実社会で必要な国語の知識や言語スキルを身につける。 ・言語の四技能（聞く・話す・読む・書く）を使って考え、自分の意見を論理的に話したり、書くことで表現することができる。		
科目目標	・論理的に考える力を使って、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを横に広げたり、深めたりすることができるようにする。 ・言語を使って他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学習方法	・プレゼンテーションやディスカッション、ディベートなどの活動を通して、自分の将来の職業への対象理解と自己理解を深める。 ・ショートエッセイ（小論文）を書くことで、自己理解を深める。		

科目全体の評価の観点及び方法

評価の観点		主な評価方法
① 知識・技能	・話し言葉と書き言葉を通して論理的に表現している。 ・実用的な文章を読んで、構成や展開の仕方などを理解している。 （評価の割合 3 割）	・日本語文章能力検定 ・単元試験
②思考・判断・表現	・自分の主張を論理的に伝え、根拠を使つて的確に表現している。 ・論点を明確にして自分の考えと比較しながら相手の話を聞き、その内容を吟味して自分の考えを広げたり深めている。 （評価の割合 6 割）	・ディベート評価 ・口頭試問 ・小論文課題評価
③主体的な学習に取り組む態度	・学習のテーマに沿って、これまでの学習を生かして主体的に表現できている。 （評価の割合 1 割）	・授業態度 ・課題提出

年間学習計画

単 元	書いて伝える (予定時数 15)
主な学習内容（活動）	・ 論理的な表現とは何か。 ・ 課題文や写真や絵を見て自分の考えを書く。
評価の観点と評価方法	①国語や言語活動について関心を持ち、意欲的に理解したり表現したりする。
	②聞き手に応じた効果的な書き方を心がけるとともに、客観的に聞き取り、読み取る能力を身につける。 主体的な読解の態度を身につけ、文章に沿った正確な読み取りができる。
	評価方法：文章添削と評価規準に基づく採点、評価

単 元	自己PRと面接 (予定時数 15)
主な学習内容（活動）	・ 自分の将来を考え、志望動機や志望理由書をまとめる。 ・ 面接の仕方を学ぶ。
評価の観点と評価方法	①国語や言語活動について関心を持ち、意欲的に理解したり表現したりする。
	②簡潔な表現を目指し、自己の意見が相手に伝わるように話す技術を身につけている。
	評価方法：相互評価・筆記試験

単 元	会話・議論・発表 (予定時数 15)
主な学習内容（活動）	・相手や場面に応じた会話の仕方 ・クリティカルシンキング ・プレゼンテーションの仕方
評価の観点と評価方法	①国語や言語活動について関心を持ち、意欲的に理解したり表現したりする。
	②簡潔な表現を目指し、自己の意見が相手に伝わるように話す技術を身につけている。
	評価方法：相互評価・筆記試験

単 元	小論文・レポート (予定時数 15)
主な学習内容（活動）	・クリティカルシンキング ・反論を想定して書く。 ・文章や統計資料を読み取って書く。
評価の観点と評価方法	①聞き手に応じた効果的な書き方を心がけるとともに、客観的に聞き取り、読み取る能力を身につける。 主体的な読解の態度を身につけ、文章に沿った正確な読み取りができる。
	②基本的な語彙を理解し、慣用句やことわざなど、国語の基礎的なちからを身につけている。
	評価方法：定期考査、文章添削と評価規準に基づく採点と評価